

こん存目

毎日同じで有り 二ん存目もある

子と子とをみかるとして 何度か見

二十三度 ねていゝ時 このうう存 多たに

かりの海 いう今

エアコレを消す

身が のとに系

アツいよぶふく 又ふく 又又ふく

身は豊富とある

は身がし ぶきとあ

気温は十九度

さうき どうして二十三度に見えぬのか

五分はつての厚い

夏 湿度の低い

京橋用紙と 床にふたし

席はふたれたおのち ひううのは かきり

土がぬれ

春の 会場の脚のハジがみ

京橋甲州 一枚のう ほとかひうま

一まつはむりヒきそつてい

考る命和ろ茶をうすたい

水とろに 不器入るるに

とはかく京福用紙 ひろいひ

くすくしていろろに

あけ方の四階に居るに

お茶の山の今昔 林のストーリー

解にかゆる 二れで少、けあはかかく

さあどろりだ、あけ建を常行ほと

京福用紙に近づく

もう一方の定かにはろく

腰正子かゝたけ子今

アト いろそな

そろに へろろ 木びる

あつたひろろた

とお茶のあやにく

大まいつりーブルの不器きとりは行く

お茶のあやに へつれのへりにすりれた

これで今日スタート 出番。

2024  
4/2